

ふじのくに養殖魚安全対策事業に関する 試験研究(海産魚類)

(予算区分 交付金 研究期間 平成15～18年度)

担当：水産試験場沼津分室

【研究の背景とねらい】

養殖生産物の安全性を確保し、健全で安全な養殖魚の生産に寄与するため、疾病対策や環境保全にも対応した養殖衛生管理体制を整備します。

養殖場巡回、アンケート調査、魚病診断及び薬剤感受性検査等により県内の魚病発生動向の把握に努めました。

【研究成果】

1 養殖生産量及び魚病被害量の把握

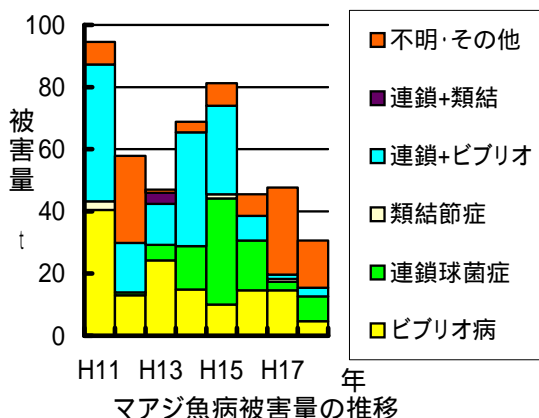
平成18年は2,007トン(約18億円)の生産であり、生産量、生産金額とも前年を下回りました。

2 魚病被害量の把握

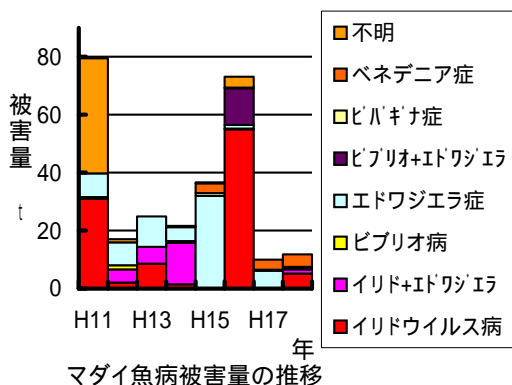
マアジ、マダイ、ブリの被害量は生産量のそれぞれ5%、1%、0%であり、マアジ、ブリでは減少しました。



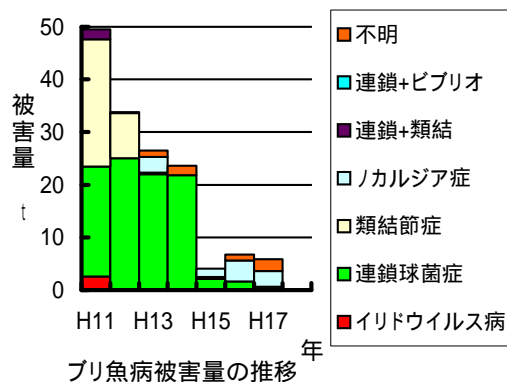
ワクチン投与指導



マアジ魚病被害量の推移



マダイ魚病被害量の推移



ブリ魚病被害量の推移

【成果の普及方法】

普及事業の中で今後も調査を継続し、逐次その成果を普及指導します。

(作成 平成19年3月)